

だんごむし通信

10月号

発行元

慶應義塾大学 防災社会デザイン研究室

監修：環境情報学部 准教授 大木聖子

チェック

大雨のときはいつもと違う危険がいっぱい！どんな危険があるか確認しよう。

下ノ加江小学校のみなさん、保護者の皆さま、地域の皆さまへ

18日、19日は、下ノ加江小学校で最後の防災学習でした。18日は3・4年生が作ってくれた防災マップを使って、地区ごとに避難所や高台を地域の方と一緒に確認しました。そして「今からできること」を模造紙に書きました。紙に書いたこと、できましたか？19日は洪水の授業をしましたね。今日はその復習と、みんなに知っておいてほしいことを取り上げるよ。だんごむし通信の防災学習はまだまだ続くよ！

大雨のときの、避難をよびかける3つの言葉を確認！！

まずは、大雨のときに避難を呼びかける3つの言葉を紹介するよ。この3つの言葉は、テレビやラジオで流れるよ。でも、この情報が全てではないんだ。自分の力で早めに判断して避難できるようにしよう。

ひなんじゅんび
避難準備
じょうほう
情報

危険が近づいているから避難するための準備を始めよう。また、避難に時間がかかる高齢者や障がい者、子どもは早めの段階で避難を始めよう！

ひなんかんこく
避難勧告

危険が目の前まで近づいているよ。すぐに避難所へ避難しよう！

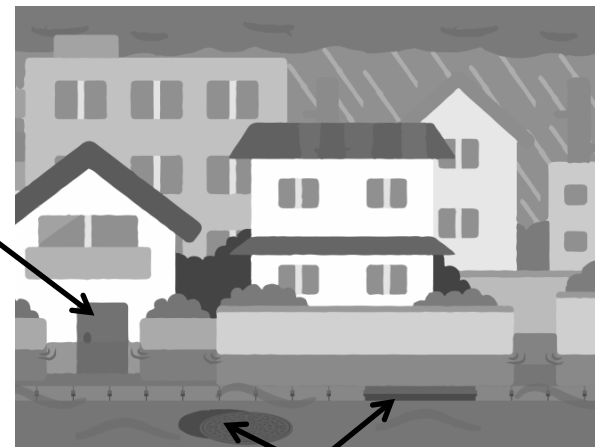
ひなんしじ
避難指示

避難中の方は、すぐに避難を終わらせよう。また、外が危険な場合は、おうちや近くの建物の2階などに避難し、屋内で身を守ろう！

洪水の時は水の重さで扉が開かなくなることがあるよ。



子どもは10cmくらい、大人は30cmくらいの水の限界と言われているんだ。避難する場合は早めの避難を心がけようね。



大雨で水かさが増すと、水の中でマンホールや側溝（道路の脇の、水が流れている場所のこと）のふたがはずれていることがあるよ！どうしても水の中を避難しないといけないときは、傘や棒などで、足下を確認しながら歩こうにしよう！

メモ

「アンダーパス」ってなんだろう？



みんなはアンダーパスって知ってるかな？写真のように、周りよりも土地が低くなっている場所のことだよ！こういう場所は水がたまりやすいから大雨のときに危険なんだ。近づかないようにしようね！

問題



大雨で避難しようと思ったら、なんと家の前の道路が水浸しになってしまいました！今からさらに水が増えるかもしれません。どのくらいの水の高さまでだったら、その中を歩けると思う！？

1 ひざ 2 こし 3 かた

答え 1 ひざ



解説：流れている水にはものすごいパワーがあるんだ。水の高さがひざよりも高くなると歩けなくなるよ。避難しているうちに水の量が増えて流される可能性もあるよ。水がひざより高いときは、むりやり外に出ないで2階などの高い場所に避難しよう。